

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	01_北海道
市区町村名	01518利尻町
自治体区分	

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施 自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
01518利尻 町	③学校と家庭 の課題	05 その他	スマートフォン所持の低年齢化 など子どもの生活環境が変化 する中で、休日においても「早 寝早起き朝ごはん」習慣を定 着させることが課題となってい る。 また、子どもの発達段階に応じ て、英語を「聞く・話す」「読む・ 書く」力を涵養する環境づくり が課題となっている。	土曜日(長期休暇中・祝日を含む)の午前 中に2校合同・複学年のクラスで事業を実 施し、望ましい生活環境の維持、英語学習 意欲の向上、コミュニケーション能力の向 上を目指す。(全14回予定) ネイティブスピーカーとの英語学習や座学 の外国語に対する学習意欲の向上と継続 性を養うことに取り組む。 目標達成の指標として、5月と1月の計2回 参加者へアンケートを実施する。	令和6年度に事業に参加した小学生に起床 時間・朝食・コミュニケーションについてアン ケートを取った結果、平日と休日で起床時 間の違いが1時間以内の児童の割合は全 学年平均で53%であった。より多くの参加 者に望ましい生活習慣を定着させるため、 自分の生活習慣の振り返りと英語学習を組 み合わせたプログラムを実施する。	・休日における児童の生活リズム を改善する、または望ましい 状態を維持する。 ・外国の言語や文化への理解を 深め、学校における英語学習へ の関心を高める。 ・2校合同・複学年で英語学習 に取り組むことにより、児童の積 極的なコミュニケーションや相互 的な学びが促進される。	・平日と休日とで起 床時間に1時間以上 の変動がない児童 の数 ・休日も平日と同様 に朝食をとる児童の 数 ・「学校の英語の授 業が楽しい」と答える 児童の数 ・「違う学年、違う学 校の児童と仲良くで きている」と思う児 童の数	53	%	70	58	02 本年度 の目標値を 下回り、取 組の工夫・ 改善が求め られる 延べ人数としては全14回で376名の参加があり、休日にお いても参加児童に早寝・早起き・朝ご飯の習慣を定着させる ために一定の効果がみられるものの、目標値の達成には至 らなかった。 アンケートの結果を見ると、中、高学年については、平日と 休日の起床時間が1時間以内という児童がほとんどであっ たが、1年生と2年生のほとんどが、2時間以上遅れて起きる ということで、生活習慣の定着がうまくいかなかった。 今後も、参加児童にとってより多様で魅力のあるプログラ ムを作成し、より多くの児童に意欲を持って参加してもらうよう 取り組む必要があるのはもちろんだが、低学年の児童に に対しても、より興味を持ってもらえるような学習内容にする よう取り組むことで、生活習慣の定着を図る。